

平成28年11月9日
公益社団法人 大分県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成28年7・8・9月分】

平成28年7・8・9月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の9及び附則10の補填金単価（確定値）については、下記のとおりです。

なお、平成28年7・8月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則10の精算払額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種 (地域算定)	交雑種 (全国算定)	乳用種 (全国算定)
平成28年7月確定値 (概算払)	－ 円 (－ 円)	－ 円 (－ 円)	17,800円 (13,800円)
平成28年8月確定値 (概算払)	－ 円 (－ 円)	－ 円 (－ 円)	26,800円 (22,800円)
平成28年9月確定値	－ 円	－ 円	47,000円

- 注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。
- 注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。
- 注5：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。
- 注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

価格安定課

担当：蔵原、神崎

電話：097-545-6594

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成28年9月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,208,750
生産コスト (B)	1,017,083
差額 (C) = (A) - (B)	191,667
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,208,750
主産物価格 ① = a × b	1,199,416
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,504
枝肉重量 (kg) b	479
副産物価格 ②	9,334
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,017,083
物財費 ③	928,380
もと畜費	565,930
飼料費	297,766
流通飼料費	296,699
麦類	10,248
とうもろこし	10,202
ふすま	9,598
かす類	8,028
配合飼料	210,434
稲わら	24,271
その他	23,918
牧草・放牧・採草費	1,067
敷料費	11,422
光熱水料及び動力費	9,535
その他の諸材料費	229
獣医師料及び医薬品費	7,438
賃借料及び料金	3,996
物件税及び公課諸負担	4,985
建物費	11,820
自動車費	5,150
農機具費	8,606
生産管理費	1,503
労働費 ④	64,236
家族	58,494
費用合計 ⑤ = ③ + ④	992,616
支払利子 ⑥	13,330
支払地代 ⑦	460
と畜経費 ⑧	10,677

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成28年8月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,172,308
生産コスト (B)	1,018,469
差額 (C) = (A) - (B)	153,839
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,172,308
主産物価格 ① = a × b	1,162,974
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,433
枝肉重量 (kg) b	478
副産物価格 ②	9,334
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,018,469
物財費 ③	929,700
もと畜費	565,930
飼料費	299,009
流通飼料費	297,942
麦類	10,341
とうもろこし	10,277
ふすま	9,624
かす類	8,090
配合飼料	211,347
稲わら	24,223
その他	24,040
牧草・放牧・採草費	1,067
敷料費	11,422
光熱水料及び動力費	9,623
その他の諸材料費	229
獣医師料及び医薬品費	7,438
賃借料及び料金	3,996
物件税及び公課諸負担	4,985
建物費	11,809
自動車費	5,150
農機具費	8,606
生産管理費	1,503
労働費 ④	64,236
家族	58,494
費用合計 ⑤ = ③ + ④	993,936
支払利子 ⑥	13,330
支払地代 ⑦	460
と畜経費 ⑧	10,743

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成28年7月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,189,994
生産コスト (B)	1,019,028
差額 (C) = (A) - (B)	170,966
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,189,994
主産物価格 ① = a × b	1,180,660
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,470
枝肉重量 (kg) b	478
副産物価格 ②	9,334
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,019,028
物財費 ③	930,528
もと畜費	565,930
飼料費	299,721
流通飼料費	298,654
麦類	10,417
とうもろこし	10,324
ふすま	9,650
かす類	8,114
配合飼料	211,895
稲わら	24,152
その他	24,102
牧草・放牧・採草費	1,067
敷料費	11,422
光熱水料及び動力費	9,750
その他の諸材料費	229
獣医師料及び医薬品費	7,438
賃借料及び料金	3,996
物件税及び公課諸負担	4,985
建物費	11,798
自動車費	5,150
農機具費	8,606
生産管理費	1,503
労働費 ④	64,236
家族	58,494
費用合計 ⑤ = ③ + ④	994,764
支払利子 ⑥	13,330
支払地代 ⑦	460
と畜経費 ⑧	10,474

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、曾於中央家畜市場、熊本県畜産農業協同組合（熊本県家畜市場）、天草畜産農業協同組合（天草家畜市場）、小林地域家畜市場、県南家畜市場、球磨家畜市場、都城地域家畜市場